

1. 取組の概要

網走市、大空町の総人口（2015年農林業センサス）は、網走市37,553人、大空町7,698人であり、農業就業人口は、網走市1,009名、大空町1,423名、販売農家戸数は網走市374戸、大空町439戸となっています。

近年、両地区においては、農業者の高齢化や離農等の影響を受け、1戸当たりの耕作面積が増えた為、麦類、甜菜、馬鈴薯といった比較的機械化が進んだ畑作3品にシフトされ、手間のかかる青果物の耕作面積が減少しており原料の不足が課題です。

網走市、大空町の長いも作付け面積は農協合併後の平成24年の83.86haから平成30年には67.82ha迄減少している状況。輸出については、平成25年より輸出を本格的に開始をしました。背景としては、平成24年産が各産地豊作でありまた、前年産の在庫も多く抱えていた事から価格が低迷し、国内市場は飽和状態となっていた。当JAにおいては、平成24年に前述にもあるように、JA合併前からある2ヵ所の選果施設を作業効率を高める為、東藻琴地区1ヶ所へ統合したばかりであり、選果数量が約倍となった事から、国内市場飽和時にはまだ7割近い原料が残っていた為、輸出に踏み切った経緯であります。輸出するに当たって、輸出実績の少ないアメリカへの出荷を試験的に実施する事としました。平成25年輸出開始から順調にアメリカ、カナダ、タイ等への販路及び数量を伸ばし、翌26年には約500トンの販売実績となったが、天候不順による収量及び太物サイズの減と台風被害による奇形の大量発生等の影響、中国産の台頭を受け現在は前述の理由も重なり100トンを超える状況となっている事から、生産面での優良種苗育成、新栽培導入技術研究、労力軽減策に取り組むとともに、販売面ではHACCP対応、製品維持、選果能力の向上を視野に入れたラインの変更等も踏まえ、今回の事業採択を契機に改めてグローバル的な産地形成を図り、輸出の増加を行いたい。



持続的生産強化対策事業、食料産業・6次産業化交付金、強い農業担い手づくり総合交付金を活用



世界に通用する産地形成（生産効率・品質・供給量・生産者の収益性等）を行い安定的な海外市場への販売チャンネルの獲得を目指す

これまでの輸出の取組み（参考）

【ロサンゼルスでのオホーツク網走展】

開催コンセプト

北海道オホーツク網走を米国内にPRする事で日本＝北海道＝網走のイメージづけを実践したい。

J A オホーツク網走産長芋の米国消費者への認知度向上を図りたい。

市や農業団体による協力展示により、米国輸入業者や取扱店舗へ他国輸入農産物との競争に負けない（店舗）サポートを実施したい。

開催店舗

S. G. SUPERSTORE（サンガブリエル地区）

（直前での開催店舗変更：当初、韓国系スーパーでの開催で進めていたが、日・中・韓関係悪化の影響を鑑み、ベトナム系スーパーでの開催とさせて頂きました。）

開催日時

平成26年9月5日（金）～6日（土）の2日間、 AM9:00～PM5:00

在ロサンゼルス日本国総領事館
堀之内総領事と面談



これまでの輸出の取組み（参考）

【長芋部会三役～長芋輸出先の視察】

- 平成28年12月1日（木）～平成28年12月8日（木） J A 長芋部会三役：澤井部会長・川口副部会長・石原副部会長
全農食品：浜口課長代理、株式会社メグ：林社長、陳マネージャー

【ロサンゼルス】

Y E S ! 社 (T Fresh Co. DBA Yes Produce): Eric Tsai、Lily Yeh、Nina Yeh

- ロサンゼルスを拠点としている株式会社メグの取引先。
- 年間販売高 5500万ドル（60億円／1ドル110円換算）
- 平成29年1月に米国ヒューストン及びダラスにて J A P A N フェアを開催するにあたり11月に当 J A 産長芋を1750ケース輸出させて頂きました。商流は以下の通り。

J A → 全農食品 → 株式会社メグ → Y E S ! 社

- Y E S ! 社は客の要望に沿ったパッケージを作成し、商品を混載（1パレット）で販売するシステムを確立している。
- 長芋に関しては、平成16年から株式会社メグを通じて十勝の農家（契約栽培）や青森産を取扱い、現在では年間3万ケース程輸入している。
- 当 J A 産 P プラス長芋に興味を示されており、今後、パッケージや着荷状態を確認したうえで前向きに検討したいとのことで、当 J A と致しましては設備等のこともあります、対応できる範囲で取り進めて参りたい。

YES社役員との懇談



YES社の倉庫

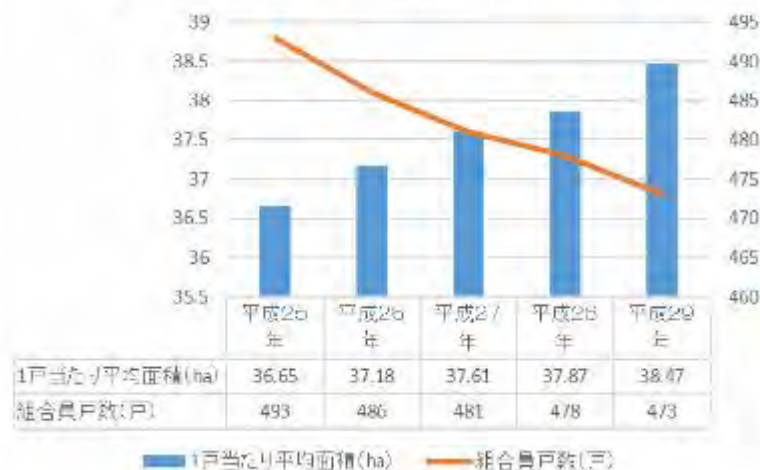


長いも生産の現状（参考）

長いも面積と製品単価の推移



組合員戸数と1戸当たりの面積の推移

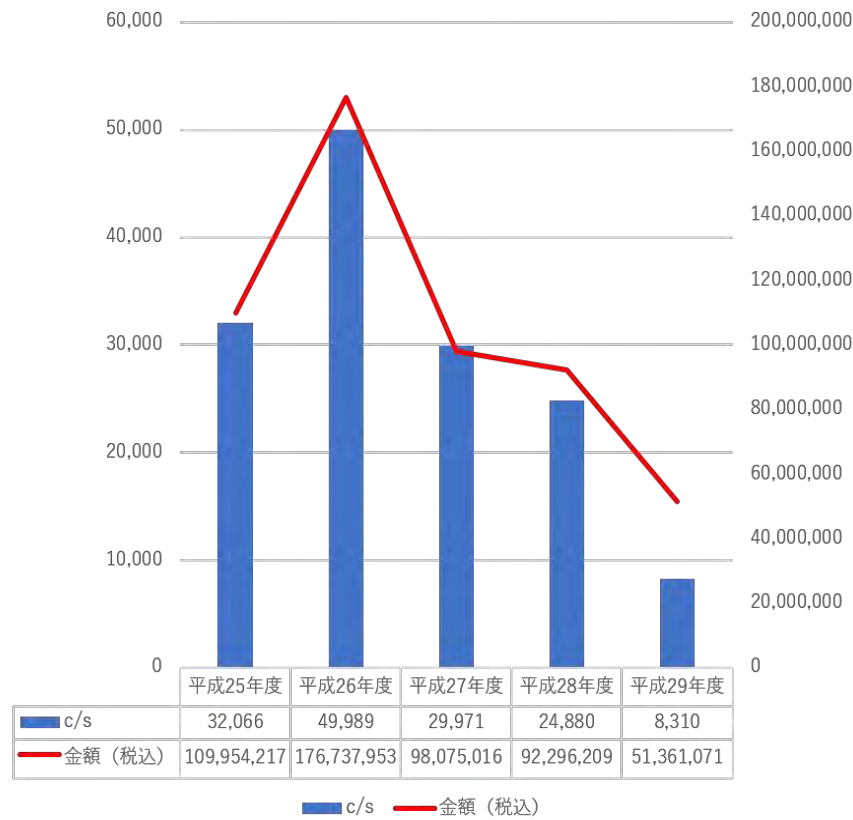


面積・収量推移



これまでの輸出実績（参考）

輸出数量・金額推移



国別出荷数量

